



○校長室だよりの名前を「絆」とすることにしました。

先日、地域の方からお便りをいただきました。内容の詳細は、ご本人の許可を得ていないのでここでは紹介できませんが、三刀屋高校の生徒の活動に対するお褒めと応援の言葉で綴られていました。こうして、高校の教育活動に関心と期待を寄せていただけることは、生徒はもちろん、教職員も大いに励みになるところです。

このお手紙に、「絆」と書かれた書が同封されてきました。高校と地域・ご本人との「絆」を感じて書かれたものです。ちょうど、入学式の式辞等で、学校は「夢と絆」を育むところであると話をしたところでした。これを縁と感じ、「絆」を校長室だよりの名前にすることにしました。タイトルの題字は、同封されてきました書載せています。

今後、学校の内外で絆を広げ深めていくことで、ますます三刀屋高校、掛合分校の教育活動が充実したものとなり、そのことで生徒、教職員、保護者、地域の方々に多くの幸が降り注ぐことを願って、この題字を使っていきたいと思えます。

○「挨拶」の大切さ

4月も中旬となり、部活動の各種大会が始まっています。

放課後、いくつかの部活動を見学にいきました。どの部活動においても、生徒たちが大きな声で、「こんにちは」と挨拶をしてくれます。見学する者にとっては、邪魔にならないか恐る恐る近づいているのですが、挨拶一つで、受け入れられた気持ちというか、見学しても大丈夫、ここにいて大丈夫という気持ちにさせてくれました。分校から本校に練習に来ている生徒が、わざわざ近づいて来て挨拶してくれたこともありました。朝の「おはようございます」の一言が、お互いの朝の微妙な心理的な距離感を一気に縮めてくれるのと同じです。安心安全な学校・環境づくりには、まずは「挨拶」からだと感じたところでした。